X線SOI検出器XRPIXを用いた 太陽アクシオン探索

小貫良行

東京大学素粒子物理国際研究センター(ICEPP)

理学部物理学科相原·横山研究室

小瀬樹(M1),Alejandro Mora(M1)

京都大 鶴剛、宮崎大 武田彩希、神戸大 身内賢太朗 ICEPP 井上慶純, KEK 新井康夫

> Shelvia Wongso, Nanyang Technology Univ. Haochen Yan, Univ. of California, Irvine Irina Skudnova, St. Petersburg Univ.

科研費新学術領域「3次元半導体検出器で切り拓く新たな量子イメージングの展開」B1班2016公募研究 衛星搭載X線SOI検出器を用いた太陽アクシオン地上探索

Axion

- 素粒子標準理論の量子色力学QCDにおける強いCP(荷電・パリティ 変換対称性)問題
 - QCDにおいてCPは一般に保存しない
 - しかし中性子の電気双極子測定ではCPが良く保存
- Peccei-Quinn機構を導入することでCP問題が解決。Axionを予言。

$$\mathcal{L} = \left(\bar{\Theta} - \frac{\phi_A}{f_A}\right) \frac{\alpha_s}{8\pi} \, G^{\mu\nu a} \tilde{G}^a_{\mu\nu}$$

R. D. Peccei and H. R. Quinn, Phys. Rev. Lett. 38, 1440 (1977).
 S.Weinberg, Phys. Rev. Lett. 40, 223 (1978).
 F. Wilczek, Phys. Rev. Lett. 40, 279 (1978).

- ・ Invisible Axion モデル
 - DFSZ axion…ツリーレベルでLepton, quarkと相互作用
 - KSVZ(hadronic) axion...核子と相互作用(Lepton, quarkループでのみ)

Axion-光子反応g_{ay} ...Laser実験, Cavity実験 Axion-電子反応g_{ae} ...CAST実験、Tokyo実験、XMASS実験、Si(Li)実験 Axion-核子反応g_{aN}...⁵⁷Fe(14.4keV)実験, ⁸³Kr(9.7keV), ¹⁶⁹Tm(8.4keV)

研究室規模の素粒子実験

Hadronic Axionの状況



⁸³Kr(9.4keV)で mA < 100eV !

Hadronic Solar Axion



WIMP探索







DAMIC(Dark Matter in CCD)実験...軽いWIMP領域

- クラスタリング
 - 粒子識別α/β/γ/宇宙線識別
 - 信号拡散による深さ情報
- 反同時計数
 - +α(模索中)

Silicon On Insulator(SOI) 検出器

- CMOS回路用Si基板と高抵抗セン サーSi基板の一体接合(SOITEC Co.)
- ROHMグループのラピスセミコンダ クタ社の商用 Full depleted(FD)-SOI プロセス (0.20µm) を使用
- Low power, hi-speed,シングルイベント耐性,広い動作温度(1K~570K)



KEK測定器開発室SOIPIXグループが中心に研究開発

- ・ 金属バンプボンド不要 ピクセルサイズ小、高密度、低容量
- 高機能な回路をピクセル内に実装可能
 アンプ、計数、メモリ、トリガー回路など
- X線、ガンマ線、荷電粒子検出器などが開発 実用例)SOPHIAS(SACLA@Spring-8)
- 3D検出器の可能性(縦に更に積層)

将来加速器実験の崩壊点検出器としても有望な候補

Circuit Layer : ~10 μm Buried Oxide (BOX) : 200 nm Sensor Layer : 50 - 725 μm

SOI XRPIX

X線天文衛星(FORCE計画)を目標に京大、宮崎大などが開発しているsoiピクセル素子



ピクセル回路・アナログ信号読み出し回路の構成



XRPIXチップ状況

• XRPIX2b(4.6 × 4.6 × t0.5mm³)

- LDD(低濃度不純物ドレイン)導入



ス タック XRPIX 検出器

- XRPIXユーザによる複数XRPIX5b素子のスタック化共同開発
 - 京大、阪大、宮崎大(X線衛星)
 - 東大工(PET, SPECT医療応用)
 - 東大理(Axion/WIMP)



- チップボード(77mm×98mm)にXRPIX5b素子を直接実装
- 長さ600mmのFPCで信号伝送
- ・ サブボード上のFPGAで各素子同期、SEABASへスイッチング読出し
 →設計完了、製造会社へ見積・発注。今年度中の納品(目標)
 →東大理分...XRPIX5を2層。Fe57サンドイッチ。

まずは通常基板で製作→回路検証→低BG基板版を製作(来年度)

XRPIXの実験感度



Hadronic Axion...先行実験100counts/keV/day@14.4keV BG(~1/110) 予備実験Pb5~15cmにより~1/200を目指す。 既存XRPIX素子のアレイ化によってUpper limit更新有望。 WIMP...更なる低BG化、XRPIX素子の大型化、低エネルギー閾値化などが課題



予備実験:鉛ブロック(~100kg)を積載したテーブルを外部からワイヤーで懸架。 小体積低BG環境を作り、そこに冷却した検出器を設置。 速やかに遮蔽+低温環境を構築し予備実験を行う。 12

冷却と遮蔽



恒温槽(~-85°C)内に遮蔽体(~120kg)を設置可能。クリーンブース化(2016年9月)。 XRPIX検出器、CdTe検出器を用いた遮蔽体最適化試験が可能。 Axionパイロット実験で使用予定。

検出器の低BG化



CdTeを用いたBG遮蔽試験

Environmental Radiation Measurement Combined Result



遮蔽体試験実験(Pb50mmCu12mm): →0.085±0.024 counts/keV/day/mm²

鉛、高純度錫、無酸素銅などを用いた遮蔽体試験。 CdTe...Siより広いレンジのスペクトル。室温では分極によりエネルギー分解能悪化が問題。 →恒温槽冷却により分極の抑制確認。一週間程度の長時間測定が可能。

まとめ

- 本年度から科研費新学術領域「3次元半導体検出器で切り拓く新たな量子イメージングの展開」B1班公募研究採択(2年間)
- SOI技術を用いたX線検出XRPIXを用いてSolar Hadronic Axion探索
- 速やかに遮蔽+低温環境を構築し、予備実験を実施
 - KSVZ Axion m_A<145eV w/ ⁵⁷Feを更新を目指す
 - 検出器開発…異なる興味を持った人たちで共同開発
 - 遮蔽、低温環境...本郷1号館に構築。CdTeで実測。
 - 低BG検出器開発…GeでBGレベル測定
- その先
 - Low mass WIMP探索



FPCにXRPIXを直接実装

- 科研費WIMPで申請中
- アンプを後段に移動
 冷却と遮蔽
- 半導体工場内でSiでSiをサンドイッチ できないか?

→3D(積層)化の新しい支援事業が開始。 加速器実験の開発動向に注目

高感度化

- 大型化といっても~5cm
- アレイ化といっても数10
- 低閾値XRPIXの開発 →

>X線天文衛星(FORCE計画)に牽引してもらい、協力

→ とても大変そう。 スタックXRPIX共同開発のように様々な応用分野で 需要開拓し、更に人を増やして分担開発が必要 (かもしれない)